

5月 園だより

<教育目標> ・元気に遊ぶ子ども
・豊かに感じる子ども
・考え工夫する子ども

R4. 4. 28 文京区立本駒込幼稚園



遊びを通して育む健康な心と体

園長 藤田 智子

入園、進級から3週間ほどが経ちました。どの学級の子どもたちも少しずつ新しい環境に慣れ、それぞれの学級での生活リズムを自分なりに感じながら過ごす様子が見られます。

年少組の子どもたちは、登園後の身支度の仕方を少しずつ覚え、「自分でできるよ」と、自分のマークのついたロッカーに持ち物を置き、先生に褒められるととても嬉しそうな表情を見せる姿が増えてきました。保育室、わくわくルーム、園庭など、少しずつ行動範囲も広がり、幼稚園で過ごす楽しさを感じながら遊ぶ姿が見られるようになってきました。お家の方と離れることに、まだまだ不安な様子も見られますが、「幼稚園は楽しい」「早く幼稚園に行きたいな」という気持ちで毎日元気に登園できるよう、それぞれのペースを大切にしながら見守っていきたいと思います。

年中組の学級では、一緒に遊んでいる友達との関わりを楽しみながら、保育室や廊下のスペースで遊びの場作りをする子どもたちの姿が見られます。また、学級のみinnで集まって行う活動を楽しみにし、先生と一緒にゲームやリズム遊びに喜んで参加しています。

年長組は、当番活動や誕生会の司会、グループでのこいぼり作りなどを経験する中で、少しずつ年長組としての意識が芽生えてきました。新しい活動に対して、年長組だからできる喜びと同時に難しさも感じながら、一人一人が自分なりに取り組もうとする意欲を見せています。

それぞれの子どもたちが自分のペースで踏み出したはじめての一步を応援し、支えていきたいと思います。

さて、本園では、子どもたちのよりよい成長に向けて、3つの教育目標【元気に遊ぶ子ども・豊かに感じる子ども・考え工夫する子ども】を掲げています。その1点目【元気に遊ぶ子ども】は、子どもたちの日々の園生活の中心にある『遊び』を通して健康な心と体を育むことを目指しています。遊びの充実が子どもたちの成長につながっていきます。幼稚園では、遊びを充実させるために、様々な教育の計画をしています。遊びをより豊かなものにしていくためには、今子どもたちがしている遊びを大切にしながらも、子どもたちの興味に合わせて新たな刺激を加えていくことが必要になります。また、興味の幅を広げ、好きなことや得意なことを増やしていくことも個々の成長と共に遊びの充実につながります。それぞれの得意とするところをさらに伸ばし、不得手な部分を補いつつ経験の幅を広げていくのが、学級のみinnで集まって行う集団活動や、課題的な活動です。集団活動では、歌やリズム、運動遊び、ゲーム等、みんなでするからこそ楽しいという気持ちが感じられたり、ルールや順番を守って遊ぶことの大切さが感じられたりする活動を取り入れていきます。こいのぼり作りや行事に関する取り組みなど、課題的な活動では、発達に即して、取り組みの形態を個やグループなど適したものに变化させながら、個々の技能が高められるようにしていきます。

このような様々な経験が、一人一人の力になります。そして経験したことを再び遊びに生かしていくことが、幼稚園生活の中心である『遊び』充実させることにつながります。「やってみたらおもしろかった」「何度も挑戦したらできた!」ということを繰り返していくことにより、苦手なことにも頑張って挑戦してみようという気持ちが育っていきます。できることが増えると、いろいろなことに自信をもって取り組めるようになってきます。先生や友達の励ましや刺激を受け、いろいろなことに挑戦できる集団生活の利点を生かしながら、意欲的な幼児を育てていきたくて考えています。5月も、それぞれの子どもたちがもつ可能性を引き伸ばしていくことを目指し、力を尽くしてまいります。